

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002-209721

(P2002-209721A)

(43)公開日 平成14年7月30日 (2002.7.30)

(51)Int.Cl.⁷

A 47 H 13/04

識別記号

F I

テーマコード(参考)

A 47 H 13/04

2 E 18 2

審査請求 未請求 請求項の数 5 O L (全 5 頁)

(21)出願番号

特願2001-13322(P2001-13322)

(22)出願日

平成13年1月22日 (2001.1.22)

(71)出願人 394025647

装研株式会社

千葉県柏市十余二字北庚塚313

(72)発明者 小島 勝成

東京都世田谷区桜新町 2-27-9-106

(74)代理人 100078950

弁理士 大塚 忠

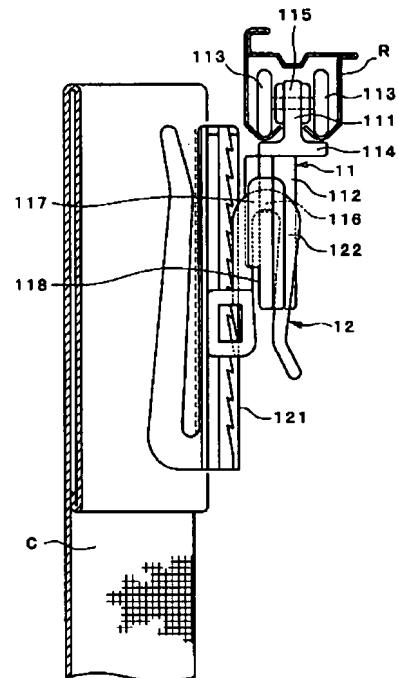
F ターム(参考) 2E182 AB01 AC01 DF46 DG01 DH02
DH05 DH11 DJ19 EE01

(54)【発明の名称】 カーテン用吊り車及びカーテン吊り装置

(57)【要約】

【課題】 カーテンの上縁部を前後方向に傾きなく吊り止めることができるカーテン用吊り車とカーテン吊り装置を提供する。

【解決手段】 吊り車11は、レールR内を転動できる車輪113を支持する本体111と、その下部から下方へ延出したフック支持部112とを具備する。本体111は、ベース部114と、これら起立してレールRに移動自在に挿入され車輪113の軸を支持する軸受け部115を有する。フック支持部112は、本体111のベース部114から下方へ延出する。フック支持部112は、フック12を掛ける係合部116と、掛けられたフック12の縦方向延伸部を両側から挟んでフック12の左右方向転倒を制限する左右一对の保持突片117と、フック12に対して少なくとも上下に離れた2点で当接してフック12の前後方向転倒を制限する当接部118とを具備する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ほぼ断面C字状のレール内を転動できる車輪を支持する本体と、本体の下部から下方へ延出したフック支持部とを具備し、

前記本体は、前記レールの直下に位置するベース部と、このベース部から起立してレールの割溝内に移動自在に挿入され前記車輪の軸を支持する軸受け部とを具備し、前記フック支持部は、前記レールの一方の縁寄りの位置において前記本体のベースから下方へ延出し、カーテン吊り用フックを掛ける係合部と、フックに対して少なくとも上下に離れた2点で当接してフックの前後方向転倒を制限する当接部とを具備することを特徴とするカーテン用吊り車。

【請求項2】 ほぼ断面C字状のレール内を転動できる車輪を支持する本体と、本体の下部から下方へ延出したフック支持部とを具備し、

前記本体は、前記レールの直下に位置するベース部と、このベース部から起立してレールの割溝内に移動自在に挿入され前記車輪の軸を支持する軸受け部とを具備し、前記フック支持部は、前記レールの一方の縁寄りの位置において前記本体のベースの一側から下方へ延出し、カーテン吊り用フックを掛ける係合部と、掛けられたフックの縦方向延伸部を両側から挟んでフックの左右方向転倒を制限する少なくとも左右一対の保持突片と、フックに対して少なくとも上下に離れた2点で当接してフックの前後方向転倒を制限する当接部とを具備することを特徴とするカーテン用吊り車。

【請求項3】 レールに沿って移動自在の吊り車と、カーテンに係止され吊り車に掛け止められるフックとを具備し、

前記吊り車は、ほぼ断面C字状のレール内を転動できる車輪を支持する本体と、本体の下部から下方へ延出したフック支持部とを具備し、

前記本体は、前記レールの直下に位置するベース部と、このベース部から起立してレールの割溝内に移動自在に挿入され前記車輪の軸を支持する軸受け部とを具備し、前記フック支持部は、前記レールの一方の縁寄りの位置において前記本体のベースの一側から下方へ延出し、カーテン吊り用フックを掛ける係合部と、掛けられたフックの縦方向延伸部を両側から挟んでフックの左右方向転倒を制限する少なくとも左右一対の保持突片と、フックに対して少なくとも上下に離れた2点で当接してフックの前後方向転倒を制限する当接部とを具備し、

前記フックは、カーテンに係止される合成樹脂製の本体と、この本体に対してラチエット式に係合位置を上下に調整自在の合成樹脂製のフック体とを具備することを特徴とするカーテン吊り装置。

【請求項4】 前記フック支持部は、板状で、前記フックを挿入して掛け止める保持開口とを具備することを特徴とする請求項1又は請求項2に記載のカーテン用吊り

車。

【請求項5】 前記フック支持部は、板状で、前記フックを挿入して掛け止める保持開口と、この保持開口の上部に連続してフック支持部の側方へ開放する受け入れ開口とを具備することを特徴とする請求項1又は請求項2に記載のカーテン用吊り車。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、カーテンの上縁部を前後方向に傾きなく吊り止めることができるカーテン用吊り車とカーテン吊り装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、例えば図7に示すようなカーテン吊り装置が知られている。このカーテン吊り装置は、レールに沿って移動自在の吊り車21と、カーテンCに係止され吊り車21に掛け止められるフック22とを具備する。フック22は、カーテンCに係止される合成樹脂製の本体221と、この本体に対してラチエット式に係合位置を上下に調整自在の合成樹脂製のフック体222とを具備する。吊り車21は、ほぼ断面C字状のレールR内を転動できる車輪213を支持する本体211と、本体の下部に取り付けられたリング212とを具備する。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】上記従来のカーテン吊り装置においては、フック22がリング212に対して回転自在であるため、レールに対する垂直に対して前後方向にフック22が傾き、カーテンCを吊ると部分C1において折れ曲がり、ここにシワができるなどして美観を損なうという問題点がある。本体221に対してフック体222を相対的に下方に配置するほどこの傾きが大きくなる。従って、本発明は、カーテンの上縁部を前後方向に傾きなく吊り止めることができるカーテン用吊り車とカーテン吊り装置を提供することを課題としている。

【0004】

【課題を解決するための手段】本発明においては、上記課題を解決するため、ほぼ断面C字状のレールR内を転動できる車輪113を支持する本体111と、本体111の下部から下方へ延出したフック支持部112とを具備させてカーテン用吊り車11を構成した。本体111には、レールRの直下に位置するベース部114と、このベース部114から起立してレールRの割溝内に移動自在に挿入され車輪113の軸を支持する軸受け部115とを具備させる。フック支持部112は、レールRの一方の縁寄りの位置において本体111のベース部114から下方へ延出させ、フック12を掛ける係合部116と、掛けられたフック12の縦方向延伸部を両側から挟んでフック12の左右方向転倒を制限する左右一対の保持突片117と、フック12に対して少なくとも上下

に離れた2点で当接してフック12の前後方向転倒を制限する当接部118とを具備させる。上記フック12として、カーテンCに係止される合成樹脂製の本体121と、この本体121に対してラチェット式に係合位置を上下に調整自在の合成樹脂製のフック体122とを具備するものを用い、これを上記カーテン用吊り車11に掛けるようにしてカーテン吊り装置を構成する。

【0005】

【発明の実施の形態】図面を参照して本発明の実施の形態を説明する。図1はカーテンを吊った状態のカーテン吊り装置の側面図、図2は吊り車の正面図、図3は図2におけるIII-III断面図、図4は吊り車の斜視図、図5は他の吊り車の正面図、図6は他の吊り車の斜視図である。

【0006】図1乃至図4において、カーテン用吊り車11は、本体111とフック支持部112とを具備する。本体111は、ほぼ断面C字状のレールR内を転動できる車輪113を支持する。フック支持部112は、本体111の下部から下方へ延出する。

【0007】本体111は、レールRの直下に位置するベース部114と、このベース部から起立してレールRの割溝内に移動自在に挿入される軸受け部115とを具備する。軸受け部115は、車輪113の軸を支持する。

【0008】フック支持部112は、レールRの一方の縁寄りの位置において本体のベース114から下方へ延出する。フック支持部112は、フックを掛ける係合部としての保持開口116と、保持突片117と、当接部118とを具備する。フック支持部112は、レールRの延長方向と平行な板状である。フック支持部112には、フック12を挿入して掛け止めるための保持開口116と、この保持開口116の上部に連続して側方へ開放する受け入れ開口119とが形成されている。

【0009】保持突片117は、保持開口116の左右両側に位置して一対設けられ、掛けられたフック12の縦方向延伸部を左右両側から挟んでフック12の左右方向転倒を制限する。当接部118は、掛けられたフック12に対して少なくとも上下に離れた2点で当接してフック12の前後方向転倒を制限する。

【0010】フック12は、カーテンCに係止される合成樹脂製の本体121と、この本体に対してラチェット式に係合位置を上下に調整自在の合成樹脂製のフック体122とを具備する。

【0011】図5、図6に示す吊り車11は、カーテンCの端部を吊るためのもので、互いに磁石片111a、

111bで吸着しあうことにより、隣接するカーテンの端部同士を閉じ合わせるものである。なお、先の実施形態と同一構成部に同一の符号を付して説明を省略する。

【0012】

【発明の効果】以上のように、本発明においては、ほぼ断面C字状のレールR内を転動できる車輪113を支持する本体111と、本体111の下部から下方へ延出したフック支持部112とを具備させてカーテン用吊り車11を構成し、本体111には、レールRの直下に位置するベース部114と、このベース部114から起立してレールRの割溝内に移動自在に挿入され車輪113の軸を支持する軸受け部115とを具備させる。フック支持部112は、レールRの一方の縁寄りの位置において本体111のベース114から下方へ延出させ、フック12を掛けた係合部116と、掛けられたフック12の縦方向延伸部を両側から挟んでフック12の左右方向転倒を制限する左右一対の保持突片117と、フック12に対して少なくとも上下に離れた2点で当接してフック12の前後方向転倒を制限する当接部118とを具備させたため、カーテンCを吊ったフック12が前後に傾斜せず、カーテンを美しく吊ることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】カーテンを吊った状態のカーテン吊り装置の側面図である。

【図2】吊り車の正面図である。

【図3】図2におけるIII-III断面図である。

【図4】吊り車の斜視図である。

【図5】他の吊り車の正面図である。

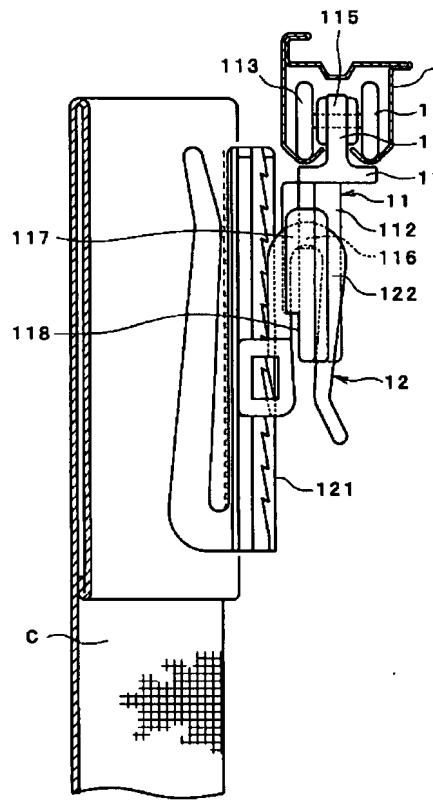
【図6】他の吊り車の斜視図である。

【図7】従来のカーテン吊り装置の側面図である。

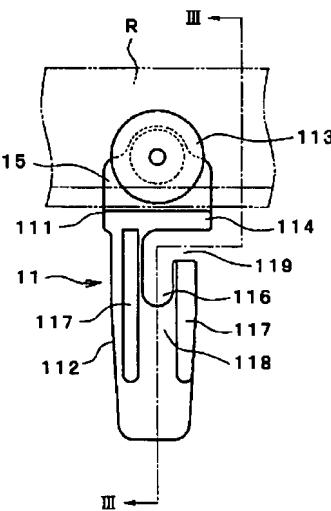
【符号の説明】

11	吊り車
111	本体
112	フック支持部
113	車輪
114	ベース部
115	軸受け部
116	保持開口(係合部)
117	保持突片
118	当接部
12	フック
121	本体
122	フック体
C	カーテン
R	レール

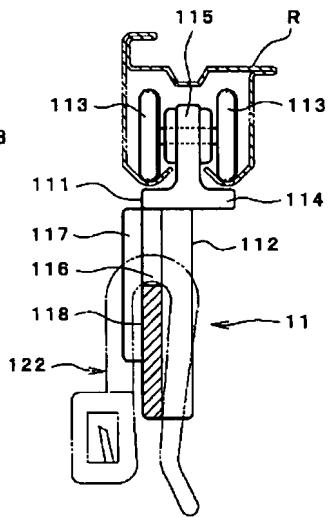
【図1】



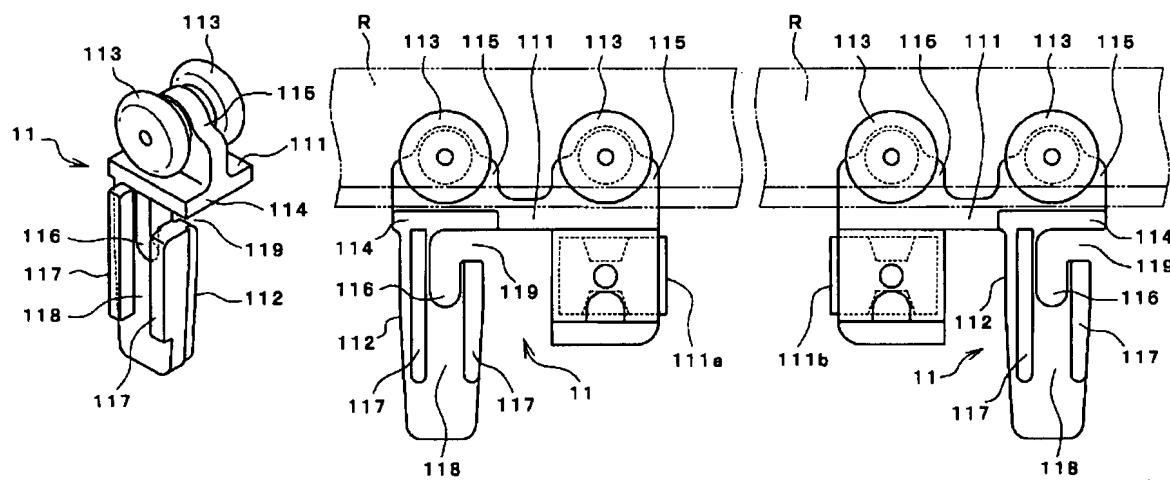
【図2】



【図3】

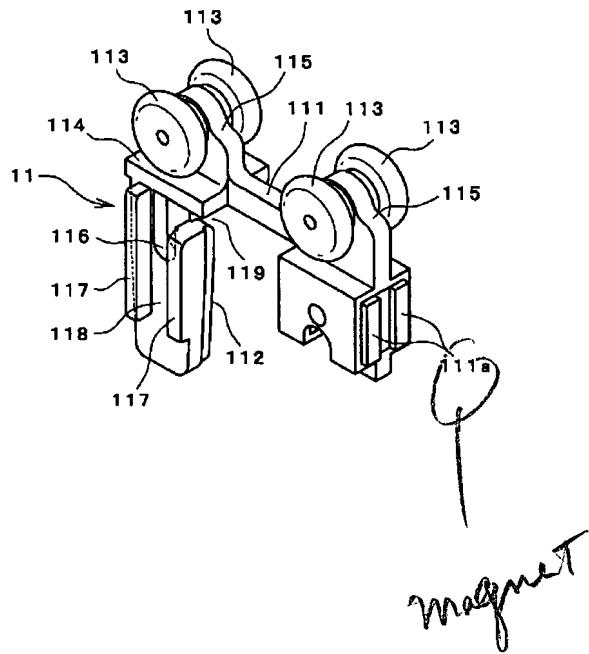


【図4】

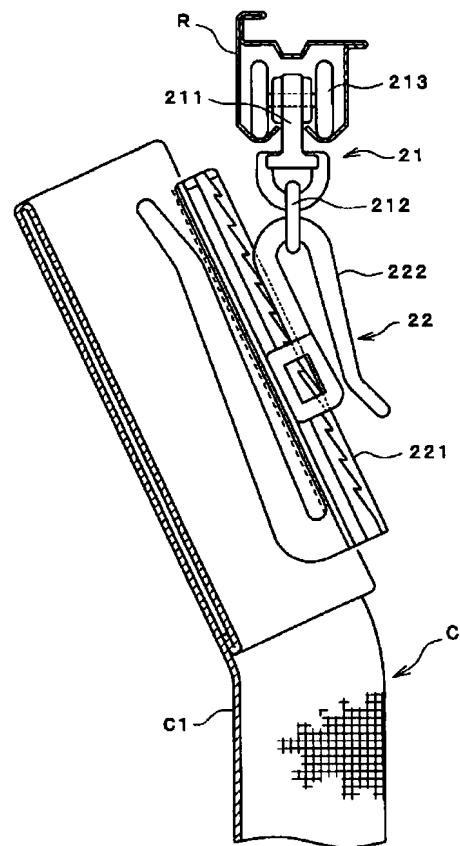


【図5】

【図6】



【図7】



DERWENT-ACC-NO: 2003-396609

DERWENT-WEEK: 200566

COPYRIGHT 2007 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: **Hanging wheel for curtain, has hook support extending downwards from base of hanging portion**

PATENT-ASSIGNEE: **SOKEN KK[SOKEN]**

PRIORITY-DATA: 2001JP-0013322 (January 22, 2001)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PUB-DATE	LANGUAGE	PAGES	MAIN-IPC
JP 3704584 B2	October 12, 2005	N/A	006	A47H 013/04
JP 2002209721 A	July 30, 2002	N/A	005	A47H 013/04

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO	APPL-DATE
JP 3704584B2	N/A	2001JP-0013322	January 22, 2001
JP 3704584B2	Previous Publ.	JP2002209721	N/A
JP2002209721A	N/A	2001JP-0013322	January 22, 2001

INT-CL (IPC): A47H013/04

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2002209721A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - A hanging portion (111) for supporting wheels (113) that roll in a rail (R), has a base (114). A support (112) extending downward from the base, has an engaging portion (116) for hanging a hook (12). A pair of retaining projections (117) prevent the hook from falling down in right and left directions. A butting portion (118) prevents the hook from falling down in front and rear directions.

USE - For hanging curtains.

ADVANTAGE - The upper hem of the curtain can be hung and fit without inclining in front and rear directions.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows a sectional view of the hanging wheel.

hook 12

hanging portion 111

support 112

supporting wheels 113

base 114

engaging portion 116

retaining projections 117

butting portion 118

rail R

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/1

TITLE-TERMS: HANG WHEEL CURTAIN HOOK SUPPORT EXTEND DOWN BASE HANG PORTION

DERWENT-CLASS: P27

SECONDARY-ACC-NO:

Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2003-316793